

製品安全データシート



Poco Graphite 合成グラファイト - 銅含浸 EDM グレード EDMC3, EDM-C200

1. 化学物質等及び会社情報

製品名 : Poco Graphite 合成グラファイト - 銅含浸 EDM グレード EDMC3, EDM-C200
 製品コード : データなし。
 製品タイプ : 固形ブロック。

物質または混合物の確認された用途および警告される用途

放電加工、その他の製造用部品。

会社情報 : POCO Graphite, Inc.
 An Entegris Company
 300 Old Greenwood Road
 Decatur, Texas 76234
 800-433-5547, EXT-4202 (8am - 4pm CT, 月曜日～金曜日)

緊急連絡用電話番号(受付時間) : CHEMTREC, U.S. : 1-800-424-9300 国際通話: +1-703-527-3887 (24/7)

2. 危険有害性の要約

GHS分類 : 水生毒性(慢性) - 区分 4

GHSラベル要素

注意喚起語 : 注意喚起語なし。
 危険有害性情報 : 長期的影響により水生生物に有害のおそれ。
 注意書き
 安全対策 : 環境への放出を避けること。
 応急措置 : 該当せず。
 保管 : 該当せず。
 廃棄 : 内容物および容器を現地、地域、国および国際的規則に従って廃棄すること。

分類されていない他の危険有害性 : 処理段階で大気中に可燃性の濃縮粉じんを発生する可能性があります。(処理段階:切断、研磨、穴あけ、機械加工、粉じんコントロール設備、その他粉じんが発生する活動等)。粉じんが発生する場合、原材料のユーザーはその使用状況に特定した可燃性テストを使用前に実施する必要があります。

3. 組成及び成分情報

単一物質/混合物 : 混合物
 化学物質を特定する他の方法 : データなし。

CAS番号/他の特定名

CAS 番号 : 該当せず。
 ENCS 番号 : データなし。
 ISHL 番号 : データなし。

成分名	%	CAS 番号	官報公示整理番号(化審法)	労働安全衛生法
グラファイト、合成銅	40 - 60 40 - 60	7440-44-0 7440-50-8	データなし。 データなし。	データなし。 データなし。

提供者の現在の知識の範囲および該当する濃度では、本製品の補足的な成分の中には健康または環境に対して有害危険性であると分類されるためこのセクションで報告が義務づけられている成分は含まれていません。

暴露限界がある場合、セクション8に記載されている。



6. 漏出時の措置

人体に対する注意事項、保護具及び緊急時措置

- 緊急時要員以外の人員用** : 粉じんの発生とその堆積を最小限にしてください。関係者以外ならびに保護用具を着用していない作業員の入室を禁じる。十分な換気を行う。適切な個人保護装置を着用する。
- 緊急時の責任者用** : 流出分の取り扱いに専用衣類が必要な場合には、適切および不適切な物質に関するセクション8に記載の情報に注意しなければならない。粉じんは物の表面に堆積しないようにしてください。粉じんは大気中に放出されて濃縮すると爆発性混合物になる可能性があります。取り扱い時に粉塵の生成を避け、着火の原因となり得るものすべて(火花または火炎)を避ける。粉じんがあるところで作業をするときは、火花が出るような道具は使用しないでください。同様にセクション8の衛生措置に関する追加情報も参照。

- 環境に対する注意事項** : 漏出した物質や流去水の拡散、および土壌、水路、排水溝下水道との接触を回避する。廃棄処分に関する情報はセクション13を参照。

封じ込めおよび浄化の方法・機材

- 少量流出** : 漏出区域から容器を移動する。物質を吸い取るか拭き取り、ラベル表示した廃棄容器に収容する。許可を受けた廃棄物処理業者に依頼して処分する。
- 大量流出** : 原材料がこぼれたとき、応急スタッフがいない場合は、掃除するか、それを丁寧にすくい上げて、後で処理するために適当な容器に入れておきます。粉塵状態になるのを避け、風による散乱を防止する。注意：接触時の情報はセクション1を、廃棄処理はセクション13を参照して下さい。

7. 取扱い及び保管上の注意

安全に取扱うための注意事項

- 保護措置** : 十分な換気を行う。粉じんは物の表面に堆積しないようにしてください。粉じんは大気中に放出されて濃縮すると爆発性混合物になる可能性があります。取り扱い時に粉塵の生成を避け、着火の原因となり得るものすべて(火花または火炎)を避ける。粉じんがあるところで作業をするときは、火花が出るような道具は使用しないでください。適切な個人保護具を使用すること(セクション8を参照)。

- 一般的な職業衛生に関する助言** : 本物質の取扱い、保管、作業を行う場所での飲食および喫煙は厳禁。発生する粉じんを避けてください。微粒の粉じんが空気中に濃縮されて大量に散布されます。着火源が近くにあると、爆発するおそれがあり危険です。粉じんの量は定められた範囲内におさまるようにしてください。製品がこぼれたら、掃除をして、お手入れをよくしてください。静電気の蓄積を防ぐための製品の移動には適切なアース接続と備え付けに関する手順を守ってください。同様にセクション8の衛生措置に関する追加情報も参照。

- あらゆる配合禁忌を含む、安全な保管条件** : グラファイトブロックは安定した場所に置くようにしてください。機械設備から発生する粉じんは全て、密閉した容器に入れておいてください。

- 勧告事項** : ブロックは輸送されてきた状態で保管してください。特別な取り扱いや保管は必要ありません。機械加工のときに出る粉じんや粉末は密閉した容器に入れておいてください。

8. 暴露防止及び保護措置

許容濃度

暴露限界

なし。

- 適切な技術的管理** : この製品から発生する粉じんを対処するための局所的な換気設備等の粉じんコントロール設備や原材料輸送システムにおいて、爆発対策の出口や爆発抑制システム、又は酸素欠乏の環境づくりなどにより対応策を講じられることをお勧めします。全体換気装置は作業者が暴露される空中浮遊物質濃度の管理に十分なものを使用する。

- 環境暴露管理** : 換気装置および作業工程装置からの排出物を検査し、環境保護の法律規制の要件に適合していることを確認しなければならない。

個人の保護措置

- 衛生対策** : 化学製品の取り扱い後は、食事、喫煙およびトイレの使用前および作業時間の最後に、必ず手、前腕および顔を洗う。作業場所の近くに洗眼スタンドと安全シャワーが設置されていることを確認する。

- 保護眼鏡/保護面** : 危険物質の暴露が懸念される場合は、安全眼鏡を着用してください。推奨：側方遮蔽のある保護眼鏡。

8. 暴露防止及び保護措置

皮膚の保護

- 手の保護具 : 実施する作業に適した手袋を使用すること。推奨：耐薬品性手袋
- 身体保護具 : 特別な保護衣は必要ない。
- その他の皮膚保護具 : この製品を取り扱う前に、行う作業とそれに付随するリスクに基づき適切な履物および何らかの追加的な皮膚保護具を選択し、専門家の認可を受けなければならない。
- 呼吸器の保護具 : 使用する呼吸保護具は、既知もしくは予測される暴露量、製品の危険有害性、選択される呼吸保護具の安全作動限度に基づいて選択しなければならない。

9. 物理的及び化学的性質

外観

- 物理的状态 : 固形ブロック。
- 色 : データなし。
- 臭い : 無臭。
- 臭気閾値 : データなし。
- pH : データなし。
- 融点 : グラファイト: 昇華温度: 3648.9° C (6600° F).
銅: 融点: 1083°C (1980°F)
- 沸点 : データなし。
- 引火点 : データなし。
- 燃焼時間 : データなし。
- 燃焼速度 : データなし。
- 蒸発速度 : データなし。
- 引火性(固体、気体) : データなし。
- 爆発(燃焼)限界の上限および下限 : データなし。
- 蒸気圧 : データなし。
- 蒸気密度 : データなし。
- 比重 : 2.36
- 溶解度 : 水中で不溶性。
- 水への溶解度 : データなし。
- オクタノール/水分配係数 : データなし。
- 分解温度 : データなし。
- SADT : データなし。
- 自然発火温度 : データなし。
- 粘度 : データなし。

10. 安定性及び反応性

- 反応性 : この製品またはその成分に関しては、反応性に関する利用可能な具体的試験データはない。
- 化学的安定性 : 製品は安定である。
- 危険な反応の可能性 : 通常の貯蔵および使用条件下では、有害な反応は起こらない。
- 避けるべき条件 : 粉じんの発生とその堆積を最小限にしてください。
- 混触危険物質 : 次の物質と反応性あるいは危険配合性: 酸化性物質 および 酸。

10. 安定性及び反応性

危険有害な分解生成物 : 通常の保管及び使用条件下では、危険な分解生成物は生成されない。

11. 有害性情報

毒物学的作用に関する情報

急性毒性

利用できるデータがない。

刺激性/腐食性

皮膚 : 利用できるデータがない。

眼 : 利用できるデータがない。

呼吸器系 : 利用できるデータがない。

感作

皮膚 : 利用できるデータがない。

呼吸器系 : 利用できるデータがない。

変異原性

利用できるデータがない。

発がん性

利用できるデータがない。

生殖毒性

利用できるデータがない。

催奇形性

利用できるデータがない。

特定標的臓器／全身毒性(単回暴露)

名称	カテゴリ	暴露経路	標的臓器
銅	区分 3	該当せず。	気道刺激性

特定標的臓器／全身毒性(反復暴露)

名称	カテゴリ	暴露経路	標的臓器
銅	区分 1	未確定	肝臓

呼吸に対する危険有害性

利用できるデータがない。

可能性のある暴露経路についての情報 : 予想される侵入経路: 経口、皮膚、吸入した場合。

起こりうる急性毒性

目に入った場合 : 重大な作用や危険有害性は知られていない。

吸入した場合 : 重大な作用や危険有害性は知られていない。

皮膚に付着した場合 : 重大な作用や危険有害性は知られていない。

飲み込んだ場合 : 重大な作用や危険有害性は知られていない。

物理的・化学的および毒物学的な特性に関連する症状

目に入った場合 : 重大な作用や危険有害性は知られていない。

吸入した場合 : 重大な作用や危険有害性は知られていない。

皮膚に付着した場合 : 重大な作用や危険有害性は知られていない。

飲み込んだ場合 : 重大な作用や危険有害性は知られていない。

遅発性および即時性の影響ならびに短期および長期の暴露による慢性的な影響

短期暴露

潜在的な即時性作用 : 重大な作用や危険有害性は知られていない。

11. 有害性情報

- 潜在的な遅発性作用** : 重大な作用や危険有害性は知られていない。
- 長期暴露**
- 潜在的な即時性作用** : 重大な作用や危険有害性は知られていない。
- 潜在的な遅発性作用** : 重大な作用や危険有害性は知られていない。
- 健康への慢性効果の可能性**
- 概要** : 重大な作用や危険有害性は知られていない。
- 発がん性** : 重大な作用や危険有害性は知られていない。
- 変異原性** : 重大な作用や危険有害性は知られていない。
- 催奇形性** : 重大な作用や危険有害性は知られていない。
- 発育への影響** : 重大な作用や危険有害性は知られていない。
- 生殖能力に対する影響** : 重大な作用や危険有害性は知られていない。

毒性の数値化

急性毒性の推定

利用できるデータがない。

12. 環境影響情報

毒性

製品 / 成分の名称	結果	種類	暴露時間
銅	急性 EC50 1100 µg/l 真水	水生植物 - Lemna minor	4 日
	急性 EC50 2.1 µg/l 真水	ミジンコ類 - Daphnia longispina - 幼若体 (ひな鳥、孵化したての幼魚、離乳子畜)	48 時間
	急性 IC50 13 µg/l 真水	藻類 - Pseudokirchneriella subcapitata - 指数増殖期	72 時間
	急性 IC50 5.4 mg/L 海水	水生植物 - Plantae - 指数増殖期	72 時間
	急性 LC50 0.072 µg/l 海水	甲殻類 - Amphipoda - 成体	48 時間
	急性 LC50 7.56 µg/l 海水	魚類 - Periophthalmus waltoni - 成体	96 時間
	慢性 NOEC 2.5 µg/l 海水	藻類 - Nitzschia closterium - 指数増殖期	72 時間
	慢性 NOEC 7 mg/L 真水	水生植物 - Ceratophyllum demersum	3 日
	慢性 NOEC 0.02 mg/L 真水	甲殻類 - Cambarus bartonii - 成熟した	21 日
	慢性 NOEC 2 µg/l 真水	ミジンコ類 - Daphnia magna	21 日
	慢性 NOEC 0.8 µg/l 真水	魚類 - Oreochromis niloticus - 幼若体 (ひな鳥、孵化したての幼魚、離乳子畜)	6 週

残留性/分解性

利用できるデータがない。

生物濃縮の可能性

利用できるデータがない。

土壌中の移動性

- 土壌/水分配係数(K_{oc})** : 利用できるデータがない。
- 移動性** : 利用できるデータがない。

その他の悪影響

: 重大な作用や危険有害性は知られていない。

13. 廃棄上の注意

廃棄方法

: 廃棄物の発生は避けるか、あるいは可能な限り少なくする必要があります。この製品、製品の溶液およびあらゆる副生成物の処分は、常に環境保護および廃棄物処理に関する法律の定める要求事項、および現地法の定める要求事項に従わなければならない。余剰またはリサイクルできない製品は許可を受けた廃棄物処理業者に依頼して処理する。管轄当局の要件に完全に準拠しない限り、廃棄物を無処理で下水道に流してはならない。不要な包装材料は再利用しなければならない。焼却または埋め立ては、再利用が不可能な場合にのみ検討すべきである。この材料およびその容器は安全な方法で廃棄しなければならない。空の容器や中袋に製品が残留している可能性がある。

14. 輸送上の注意

	UN	IMDG	IATA
国連番号	規定なし。	規定なし。	規定なし。
UN正式輸送品目名	-	-	-
輸送危険有害性クラス	-	-	-
パッキンググループ	-	-	-
環境有害性	該当せず。	該当せず。	該当せず。
追加情報	-	-	-

使用者のための特別な予防措置 : 使用者の施設内での輸送: 直立型の安定した容器に入れて輸送する。本製品の輸送者が事故や漏出の際の対処法を理解していることを確認する。

15. 適用法令

消防法

危険物区分	: データなし。	指定数量	: データなし。
危険等級	: データなし。	指定数量	: データなし。
指定可燃物	: データなし。	指定数量	: データなし。
要届出物質	: 非該当		
消防法 - 妨害物質	: 非該当		

海事安全

危険物の海上運送規制に関する通達

該当せず。

容器等級

該当せず。

労働安全衛生法

特定化学物質の用途

該当せず。

鉛中毒予防規則 : 非該当

ラベルに関する規定

該当せず。

名称等を通知すべき危険物及び有害物

成分名	%	状況	政令番号
銅	30 - 60	該当	379

発がん性物質

該当せず。

変異原性物質

該当せず。

15. 適用法令

腐食性液体	: 非該当
労働安全衛生法	: データなし。
労働安全衛生法: 第十八 - 四 アルキル鉛等業務	: 非該当
労働安全衛生法: 第十八 - 製造の許可	: 非該当
労働安全衛生法: 第十八 - 製造等の禁止	: 非該当
労働安全衛生法: 第十八 - 危険物	: 引火性

化審法

該当せず。

火薬類取締法

該当せず。

毒物及び劇物取締法

劇物

該当せず。

毒物

該当せず。

特定毒物

該当せず。

日本産業衛生学会 発がん
性物質 : 非該当

高圧ガス保安法 : データなし。

有機則 : データなし。

海洋汚染および海洋災害防止法 : 海洋汚染物: P

化学物質排出把握管理促進法(PRTR)

該当せず。

道路法 : データなし。

特別管理産業廃棄物リスト : 非該当

日本インベントリ : 未確定。

製品特有の安全、健康および
環境に関する法規 : この製品(その成分を含む)に適用される可能性のある特定の国および/または地域の規則は知られていない。

16. その他の情報

履歴

発行日	: 2013/01/15
バージョン	: 1
改訂セクション	: 該当せず。
作成者	: KMK Regulatory Services Inc.
参照	: Standard : JIS Z7250 (日本)

16. その他の情報

注意事項

危険有害性の評価は現時点で入手できる資料、データに基づいて作成しておりますが、記載のデータや評価に関しては、いかなる保証をなすものではありません。すべての化学製品には、未知の危険有害性があるため、取り扱いには細心の注意が必要です。ご使用各位の責任において、安全な使用条件を設定くださるようお願い申し上げます。